

運転代行 / フロント

ハノクメ

②

北海道帯広市の代行本舗(種 種渡社長(62歳)は全国運転代  
渡義章社長)は、全国有数の運 行協会理事で同北海道支部長。  
転代行激戦区で奮闘を続ける。 2004年に代行業を始め、現 兼業の小遣い稼ぎ。今も感覚が

安全、信頼が固定客つかむ

激戦区で適正営業訴え

地域での活動に注力する種渡社  
長。随伴車には優良事業者の認定  
ステッカーも光る



代行本舗  
(北海道帯広市)

抜けない。利用者も値切るのが  
当たり前で、遠距離は料金表が  
あってないようなもの」と厳し  
い状況を語る。  
地域の平均料金は3,150  
0円。同社は3,2500円で  
営業する。昨年4月の消費増税  
で値上げした際、顧客に①従業  
員の待遇改善の損害賠償措置の  
充実②燃料高騰―を説明し、  
客離れを防いだ。  
経営を支えるのはリビータ  
を続ける。

在は随伴車2台、妻の美代子さ  
んとアルバイトの従業員6人の  
8人で営業する。  
帯広市がある十勝地方には31  
社の代行事業者があり過当競争  
・ダンピングが深刻。種渡社長  
は「この地域の代行のルーツは  
人手不足は深刻だが、安全運転  
できない人は雇用を打ち切っ  
てきた。  
同社の給与は最低賃金の時給  
730円と深夜割増賃金。二種  
免保有者が不足する中、賃上げ  
や正社員採用への思いは強いが  
「この地域の料金水準では難し  
い」と種渡社長。地域には最賃  
や割増賃金も払えない事業者も  
ある。開業時は随伴車も5台だ  
ったが、二種免保有者の不足や  
需要減で今は2台での営業だ。  
状況打開のため、力を入れる  
のは需要喚起や適正営業の訴え  
かけ。昨年はキンビール北海  
道千歳工場で開かれたヒアフェ  
スタに、北海道支部として参加。  
今後も機会あるごとにアピール